

平成27年度 第2回スポーツ推進審議会 会議録

開催日時	平成27年11月2日 午後2時から (傍聴受付 午後1時30分から1時45分)
開催場所	奈良市役所 北棟2階 第16会議室
議題	1 平成28年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について 【資料1】 2 その他
出席者	委員 高橋会長、小林委員、井岡委員、松本委員、中尾委員、中野委員、 成瀬委員、野阪委員、藤原委員 【計9人出席（うち1人は途中参加）】 (城田副会長、池住委員、笠次委員、森下委員は、欠席)
	事務局 今西市民活動部長、松田次長 西川スポーツ振興課長、池田課長補佐 北森係長、東口係長、谷
開催形態	公開 (傍聴人 0人)
決定事項	「平成28年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」は、「妥当適正」と認められた。
担当課	市民活動部 スポーツ振興課
議事の内容	
1 平成28年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について	
2 その他	
事務局 東口係長	(開催に先立ち、出席状況の報告。) (委員13名の内、9名の委員が出席。) 奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第7条第1項の規定により過半数を超えていますので、会議が成立したことを報告いたします。 それでは、会議に先立ちまして、市民活動部長の今西がご挨拶を申し上げます。
今西市民 活動部長	(挨拶)
事務局 東口係長	なお、奈良市スポーツ推進審議会会議運営要領第2条に基づいてこの会議を公開とします(傍聴人は0人) それではここからは奈良市スポーツ推進審議会に関する条例第5条第2項の規定によりまして、高橋会長に、進行をお願いします。

高橋会長	<p>(挨拶)</p> <p>議事に先立ちまして、本日の議事を記録に留め置くため、議事録署名委員の選出でございますが、私から指名させていただいてご異議ございませんか。</p>
	(異議なしの声)
高橋会長	<p>ご異議がないようでございますので、私から指名させていただきます。</p> <p>中尾委員と松本委員のお二人にお願いいたしたいと存じます。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議事1 「平成28年度に補助金を交付しようとするスポーツ団体について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 北森係長	<p>資料1『平成28年度 スポーツ団体からの補助要望一覧表』をご覧ください。</p> <p>1～29番までの補助金でございます。</p> <p>まず、奈良市体育協会ですが、様々なスポーツ事業を展開し、各スポーツ団体の育成や多くのスポーツ団体のとりまとめするなどの活動を行っております。</p> <p>その他、昨年度まで補助金を交付しておりました全ての団体に対し9月に事務ヒアリングを行い、その際に奈良市の財政事業に基づき補助金の方向性について説明させて頂き、自主財源の確保に努めていただきたいと各団体をお願いをしております。</p> <p>その結果、平成28年度から、奈良市陸上競技協会からは『奈良市民マラソン』の事業についての補助金を要求しないということで確認をしております。</p> <p>次に、姉妹都市交流事業についてですが、奈良市ソフトボール協会と奈良市剣道連盟の小浜市との交流事業は、今年度は小浜市に選手を派遣しましたが、来年度は選手派遣がないため、補助金の要求はございません。</p> <p>また、奈良市ソフトボール協会ですが、韓国慶州市との交流事業で平成28年には受入事業を予定されています。</p> <p>以上、説明させていただきました各団体への補助金でございますが、現在、市への予算要求の段階でございますので、変更が生じるかもしれません。スポーツ振興課の方で必要性を鑑みて査定を行わせていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
高橋会長	<p>この議題は、補助金の要望が出ている団体について審議を行うものであります。</p> <p>只今の説明について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。</p>
小林委員	<p>補助金事業ですが、総額はどれくらいなのでしょう。</p> <p>また、前年度の総額に対して今年度はどれだけの増減があったかというのを教えてください。</p>
事務局 西川課長	<p>総額については、只今調べております。</p> <p>増減についてですが、協会等事業及び運営補助としては、</p> <p>体育協会が、平成27年度予算で330万円であったところを300万円30万円の減額です。</p>

	<p>地域スポーツ団体事業補助については、平城NTスポーツ協会が、10万円から8万円で2万円の減額、都祁スポーツ協会が10万円から8万円で2万円の減額で、2つのスポーツ協会でも減額をしました。補助金の方針として、最低金額を5万円と考えています。平成28年度予算のシーリングがかなり厳しい中でこのような形にさせていただきました。</p> <p>大会等開催補助についてですが、早朝野球連盟については、今年度開催の西日本早起野球大会が来年度にはないということでゼロにしております。</p> <p>陸上競技協会の市民マラソンは、今年度は第50回の記念大会です。来年度からは市民マラソンのタイトルも変わる可能性があり、大会もリレーマラソンにシフトすると聞いているので補助金をゼロにさせていただきました。</p> <p>友好姉妹都市の交流事業の補助金なのですが、サッカー協会の福島県郡山市への選手派遣費が、25万円から20万円、同じく慶州市への選手派遣費については15万円から12万円、少年軟式野球連盟は小浜市への選手派遣に15万円から12万円、ソフトテニス協会は、慶州市との親善ソフトテニス大会を開催されるので10万円を計上させていただきました。</p> <p>ソフトボール協会と剣道連盟は、事業は行うけれども予算要求はされなかったのでは削減してゼロにさせていただいております。</p>
小林委員	2ページ目（地域スポーツ団体事業補助）についてですが、私の所属する平城ニュータウンスポーツ協会も減額されています。全体のバランスから減額されたとは思いますが、減額の根拠はどのようなところにあるのでしょうか。
事務局 西川課長	平成28年度予算については、15%のシーリングがかかっております。本来なら、補助金廃止もやむを得ないまで奈良市の状況はきています。その中で受益者負担も含めて考えていかなければならないのですが、なんとしてもスポーツを継続して頂きたく、減額して8万円とはなりましたが、補助金を出させていただくことにしました。
中尾委員	<p>以前と比べ、補助金を辞退した団体が多くなり、補助金を出される団体が少なくなってきました。</p> <p>私は、体育協会とスポーツ推進委員協議会に関係しておりますが、奈良市の色々な事情を聞かせていただいているとこれ以上の補助金の支出は無理だと思います。事務局で精査したうえでの予算案ですので、私としては賛同したいと思います。</p>
事務局 事務局 西川課長	<p>予算総額についてですが、平成27年度の前年度予算執行額が630万円、平成28年度の前年度予算要求額が492万円です。</p> <p>総額では22%の減となっております。</p>
小林委員	<p>減額がなされる以上は根拠が大切であると思います。</p> <p>私たちのような地域の団体も、永続的に補助金に頼るのではなく、自ら収益の上</p>

	<p>がるような事業をするなどの工夫をしながら発展していくという必要があります。</p> <p>2万円を減額されたことを言っているのではなく、一覧表には同じような活動をしているのに、片や前年度と同額で推移し、片や減額されている団体があることへの単純な疑問です。</p> <p>受益者負担の考えも大切と思いますが、補助金事業を今後も続ける以上は、それを求める団体もあるので、もう少しフェアに精査をしていただきたいと思います。</p>
事務局 西川課長	<p>課内でも色々な意見がありまして、5万の補助金は必要最低額として出させていたかどうかという形で検討をしてみました。</p> <p>検討の結果、この形になっております。</p>
高橋会長	<p>減額された根拠について説明を行うのは大切なことと思います。</p> <p>奈良市の方でも、予算状況が厳しい団体に対して減額を行うとダメージがあるので、予算に余裕のある団体に対して減額を判断したと思います。</p> <p>他、よろしいでしょうか。</p> <p>では、この審議会としての採決をしたいと思います。</p> <p>本件に対する当審議会の意見としては、スポーツ団体に対する補助金の交付を認めることについて、ご異議ございませんでしょうか。</p>
	(異議なしの声)
高橋会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>「スポーツ団体に対する補助金の交付は、妥当適切であると認めます。」と、答申したく思います。</p> <p>次に、報告事項の「鴻ノ池運動公園内施設の改修等について」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 西川課長	<p>平成27年度鴻ノ池運動公園体育施設改修工事でございますが、陸上競技場改修工事、陸上競技場外周ランニングコース照明工事、中央武道場耐震工事及びリニューアル改修工事、第一駐車場整備工事を予定しております。</p> <p>陸上競技場改修の内容としましては、更衣室の拡張、シャワー室の増設を予定しており、また、全国大会・国際大会で必要となる審判室、ドーピング専用ルームを新設いたします。</p> <p>また、審判室、ドーピングルームの使用がない場合は、ランニングステーションとして併用できる利用方法を考えています。</p> <p>工事予定としましては、現在設計中で工事期間は契約日から平成28年3月中を予定しております。</p> <p>次に、競技場外周ランニングコース照明工事ですが、現在11基ある照明の間に10基のLED照明を設置して夜間の利用者が安全に利用できるようにいたします。現在、工事業者も決定しております。照明器具が受注生産の為、出来次第工事</p>

	<p>に取り掛かる予定です。</p> <p>工事期間は、平成 27 年 9 月 29 日から平成 28 年 3 月 25 日を予定しております。</p> <p>次に、中央武道場改修工事は、耐震工事及び屋根の塗装、照明の LED 化を予定しております。</p> <p>工事期間としては、契約日から平成 28 年 3 月中を予定しております。</p> <p>次に、第一駐車場整備工事ですが、県道側の植栽・高木を伐採して駐車スペースを増設して整備をいたします。</p> <p>今後は、店舗誘致、土地の貸付け等を利用して公園全体の活性化になるように現在は関係課と調整中です。</p> <p>工事期間としては、契約日から平成 28 年 3 月中を予定しています。</p> <p>これらの工事以外に、鴻ノ池運動公園内 2 ヲ所の公衆トイレの新築、一部改修を予定しております。</p> <p>一つは、第二武道場横のトイレがかなり老朽化したので、解体して建て替えをします。もう一つは相撲場横の和式トイレを洋式トイレにする部分回収を行います。</p> <p>期間としては、奈良マラソン終了後を予定しております。</p> <p>以上、鴻ノ池運動公園内体育施設等の改修につきましてご報告いたします。</p>
高橋 会長	<p>只今の説明について、何かご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>外周にライトを設置するとのことですが、夜間の使用時間については何か制限等あるのでしょうか。</p>
事務局 西川 課長	<p>指定管理者もおりますので、22 時くらいまでならと話をしておりますが、ランニングしている方もかなり多くなっており、安全面の問題などもあるので、今後指定管理者とも検討をしていきたいと考えております。</p>
高橋 会長	<p>では、24 時間というわけではないのですね。</p>
事務局 西川 課長	<p>照明をタイマーで切れるようにするので、23 時頃に消灯と言う形でセットしていきたいと思っています。</p>
高橋 会長	<p>陸上競技場の審判室など、施設を充実するとのことですが、奈良クラブが将来的に J 3 に昇格することを見通したうえでのことですか。</p>
事務局 西川 課長	<p>奈良クラブの関係もございしますが、12 月 8 日にはラグビーのトップリーグの東芝対近鉄の試合が鴻ノ池陸上競技場で行われます。かなりの人が来て下さると予想されます。今後もこのような大規模な国際大会・全国大会をオリンピックに向けて誘致していきたいと考えておりますので施設の充実を図っていくところでございます。</p>
高橋 会長	<p>それでは、他にご質問やご意見がないようでございますので、最後「その他」で何かございませんか。</p>
事務局 西川 課長	<p>学校開放事業の議論についてなのですが、今までも議題に上がりつつも色々な問題があつて前に進めていない現状でございます。</p> <p>平成 28 年度予算もかなり厳しくなっており、将来的に運営していくためには受</p>

	<p>益者負担の観点から検討をしていかなければならないと思っております。</p> <p>それについて、小中学校の現場の現状を、松本委員・井岡委員からお聞かせいただければ有難いのでよろしく申し上げます。</p>
高橋会長	<p>小学校・中学校の学校開放の現状や課題等ありましたらお願いします。</p>
井岡委員	<p>小学校では、運動場、体育館を使って各団体がほぼ毎日のように活用しています。特に、体育館に関しては、月から金曜日の放課後、土日終日を、運動場に関しては土日の終日をスポーツ団体が活用し、ほぼ全ての学校で毎日のように活用されている状況があります。</p> <p>どのスポーツ団体も『練習に使用できる施設』を確保できるということが最も大きな課題であり、それが学校開放事業の加盟団体として登録することにより練習場所の確保ができるということになります。これが、利用団体にとって最も有難いことです。</p> <p>本来施設を借りると料金が発生しますが、今のところ学校施設は無料で借りられます。利用団体が料金を支払うということには抵抗があると思いますが、理解できることではないかと考えます。奈良市の財政が厳しいということは市民も知ることです。利用団体は登録と言う形で練習場所の確保という最大の課題を解決できているので、料金を支払うことで奈良市の財政に協力するという事は理解できるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ、学校のような公的施設を借りるとき使用料は無料であるとの思い込みがあるので、無料ではないことを知らせていく努力を奈良市側でしていく必要があります。スポーツ少年団の総会の場や各スポーツ団体を集めるなどしてお知らせます。料金設定は低い方が良く考えます。</p> <p>現状を理解してもらえば、有料化は出来る状況になると考えています。</p>
松本委員	<p>現状は、中学校もほぼ同じですが、中学校には部活動がありますので、使用時間帯は、平日は夕刻となり、土日も含め夕刻中心の使用がほとんどであると思います。基本的に学校行事を優先している結果です。</p> <p>使用を希望する団体は年々増加しているのではないかと思います。大小はありますが、色々なスポーツ団体で競技人口が増えているので、練習場所の確保ということで学校開放を利用する人が増えてきて、場所の取り合いになるくらいの希望者数増加の現状です。そのため、学校開放事業は必要な制度であると思います。</p> <p>一方で、ほぼ毎日、体育館、運動場を開放していますが、何か破損等が生じた際にはどこが修理の責任を持つのかという問題があります。そういった場合の財源の確保にもなりますし、先ほど議題になっていましたが、基本的には受益者負担というのが世の中の流れではないかと思うので有料化はいたし方ないと考えます。</p> <p>学校と言うところは、地域の方々の思いの強い場所です。無料で使用するというのが普通と言うか大前提となっており、学校開放以外にもスポーツ以外の地域のイベントにも使用されています。</p> <p>使用料をいただく場合には、スポーツ団体も含め、地域の方々にも十分理解して</p>

	<p>もらえるようにしていただかないと、いきなり「使用料が必要です。」では、新たな反発が起きます。丁寧な説明と配慮が必要です。</p> <p>理解して頂くためには、料金設定の際、他のスポーツ施設や公民館等の仕様料の整合性や設定基準が必要となってきます。</p> <p>将来的には、財源確保のこともあり、受益者負担について説明をしていけば、学校開校の有料化は解決できるのではないかと考えます。</p>
高橋会長	<p>奈良市の小中学校の学校開放の現状について説明をしていただきました。</p> <p>従来、無料で行っていた学校開放事業を有料化するという動きに対して、もし委員の方々にご意見等ありましたら、折角の機会ですのでよろしくお願い致します。</p>
成瀬委員	<p>奈良市のこういった場所で子ども達の居場所づくりをする仕事を以前させていただき、受益者負担という言葉は10年ほど前から出ていました。今日の会議に参加させていただき、やはり、そういう認識は進みにくのだなと感じています。説明は大切ですが、地域の皆様方に受益者負担の説明の際に「予算がありません。」だけでは理由が足りないと思います。</p> <p>子ども達の居場所である学校を使うのに、利用者も場所提供者も、スポーツ振興に向けて双方で良い方向に向かうためには受益者負担は必要であるという考え方で説明をしてほしいと感じました。</p>
野阪委員	<p>受益者負担とのことですが、破損があった場合の費用負担をどう扱うかということです。保険ではないが、修理のための積立とする考え方ではどうでしょうか。</p> <p>いきなり、予算が足りないことを理由とするのではなく、使用時の破損の備えを受益者でし、金額設定も参加人数で割るなどの考え方もあります。</p> <p>学校現場では、施設の修理があちこちで必要となります。そのための費用としてプールするという理由であれば、スタートとしては比較的抵抗がないのではないかと思います。如何でしょうか。</p>
中野委員	<p>施設を開放する時間は何時ごろまでなのでしょう。夜間の開放もあるのですか。</p>
井岡委員	<p>21時には終わるようにしています。</p>
中野委員	<p>怪我や建物の破損についてですが、怪我等生じたときは自己責任になりますか。</p>
井岡委員	<p>怪我については、学校では関与しません。</p> <p>破損があった際ですが、学校が壊したものなのか使用団体が壊したものなのか非常にわかりにくく、また、わからないものもあります。その場合は、全てを学校で負担する、もしくは使用団体と折半して費用を負担するという形をとっています。</p>
会長	<p>21時まで教職員が学校に残っているのではないと思いますが、管理の形はどうですか。</p>
井岡委員	<p>管理は使用団体に任せています。</p> <p>鍵は渡してあり、職員の誰かが残るようにはしていますが、現場に行って何かするということではなく、何かあったら報告を受ける形にしています。</p>
高橋会長	<p>職員の方は、21時まで残らなくてはならないのでしょうか。</p>

松本委員	<p>残らなければならないというわけではないが、学校には残っています。</p> <p>教職員には、早く帰宅できるときは帰宅するように指導もしているので、利用団体に鍵の開け閉め等をお任せしています。</p>
松田次長	<p>学校開放については、従来から学校開放運営委員会ということで、学校の管理職の先生方には鍵、申請書類の管理などをお世話になっております。学校業務ではない業務を教職員の方々にお願いしているのが問題点の一つです。</p> <p>有料化についてご意見をいただきましたが、有料化となった場合、発生した料金の納付法や管理等の問題が生じてきます。それを学校開放運営委員会の学校長を中心とした教職員の方々に任せするのは、学校の本来の業務ではないので、大きなハードルになってくると予想されます。</p> <p>皆様方のご意見・アドバイスをお願いいたします。</p>
高橋会長	<p>料金は、学校に入るのか、奈良市に入るのか、どうなりますか。</p>
事務局 西川課長	<p>奈良市に入ります。</p>
高橋会長	<p>払う側は、学校の修繕や維持管理に使われているという意識にはなりにくいですね。</p>
事務局 西川課長	<p>有料化になれば、使用料を学校の修繕に使うという形で、還元するのは可能であると思っています。</p>
藤原委員	<p>現状では、利用団体にもよると思いますが、学校備品を使うケースもあるのでしょうか。</p>
松本委員	<p>例えば、バレーボールの団体が使用するとなれば、学校備品の支柱とネットですね。</p>
藤原委員	<p>自分たちで持ってくる道具だけで出来る場合と、借りないと出来ない場合があるかと思います。</p> <p>その辺りについても料金的な問題が発生するのではないのでしょうか。</p>
事務局 西川課長	<p>料金に関しましては、体育施設との整合性とか、コミュニティ施設の料金が若干異なり、また、学校の教育財産使用料が関係してくると、かなりアンバランスな部分が生じます。今後、メリット・デメリットも考え、料金設定はかなり難しいと思っています。</p> <p>スポーツ振興課としては、有料化に向けて進んでいきたいと思っていますので、色々なご意見をいただきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
高橋会長	<p>学校開放は何十年も前からある制度で、日本の場合は、体育施設は学校を中心としていることがあります。</p> <p>学校施設を地域の運動施設としても使うことは大切なのではないかと思います。</p>
中野委員	<p>使用されている方々にアンケートを取るなどして、使用料を出しても良い、出したくない等の議論はあるのですか。</p> <p>それとも一度も有料化の提案はされていなくて、有料化をしたいとのことなのでしょうか。</p>

	どのような動きですか。
事務局 西川課長	アンケートの実施はしておりません。
中野委員	アンケートを行ったら、少しでも使用料を出した方が気持ちよく施設を使えると言うご意見もあるかもしれません。 施設や備品を借りられて、子どもも世話になっていると考えておられるお母様も多いので、使用料を求める思いがきつと抵抗を受けるだろうと考えなくてもよいかもしれません。 一度提案されてはどうでしょうか。
事務局 西川課長	こういう機会でも議論して方向性を導いていただいた上でアンケートを実施した方がよいかと考えておりました。
小林委員	平城ニュータウンスポーツ協会では、二つのコミュニティスポーツ施設の指定管理を行っております。 片や四つの小学校と二つの中学校が全面的に学校開放をしてくださっています。48のスポーツクラブのほぼ半分が屋内種目という中で、学校開放を利用するクラブはいつも無料で施設を使用でき、新規のクラブで学校開放を利用できないクラブはコミュニティ施設を有料で使用しています。そこに不公平が生じて、コミュニティ会館を使用するクラブからは、学校開放を利用できないとクレームが入るわけです。 以前から学校施設を利用しているクラブは、そこから離れたくないわけで、そのため、新規のクラブは学校の施設を利用できない状況が続いています。 この問題を解決するために、現在は、受益者負担という流れなのですから、早く整備をして納得できる形でまとめ上げていただきたいと思います。
高橋会長	とても有用で建設的なご意見をいただけたと思います。 他に、よろしいでしょうか。 他にご質問、ご意見等がないようですので、本日の会議は、これをもちまして閉じさせていただきますと存じます。 ありがとうございました。
事務局 東口係長	本日は、大変お忙しいところ、ご出席を賜り、貴重なご意見を頂戴いたしまして、ありがとうございました。 委員の皆様方にいただきましたご意見を、施策の実施に反映させていただき、今後一層スポーツの推進に取りくんでまいりたいと思っております。 本日は、ありがとうございました。
資料	【資料1】『平成28年度 スポーツ団体からの補助要望一覧表』